

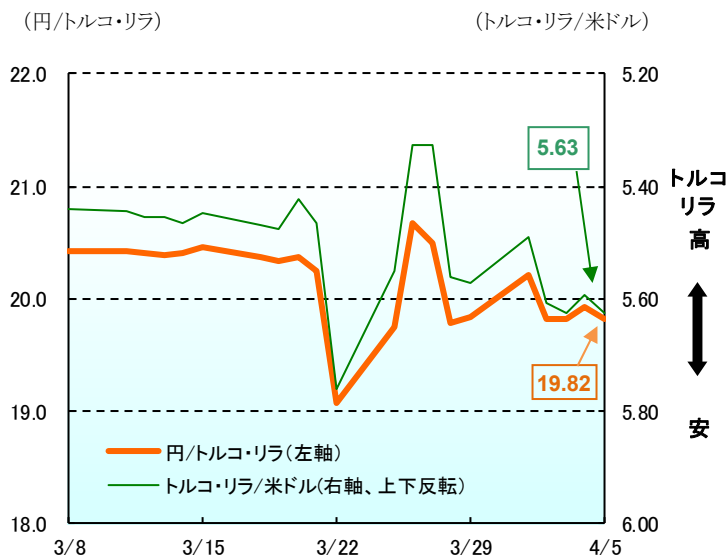
【2019年3月30日～2019年4月5日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は対米ドルで小幅に下落しました。トルコの2年国債金利は横ばいでした。

先週は、市場が警戒していた統一地方選挙をいったん通過したことと、前週にトルコ金融当局が国内金融機関に対して海外金融機関にトルコ・リラを貸し出さないよう要請した強力な空売り防止策により、積極的にトルコ・リラを売る動きは減退し、トルコ・リラは対米ドルで小幅の下落にとどまりました。対円では米ドル円相場の円安・米ドル高進行のため、ほぼ横ばいでした。国債は動意乏しく推移し、金利は横ばいでした。

【トルコ・リラ 為替推移】(2019年3月8日～2019年4月5日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【2】今週の見通し

統一地方選挙については、エルドアン大統領が最大都市イスタンブールでの選挙で「組織犯罪」があったと主張し、不正調査を要請しています。ただし、新興国の選挙ではよく見られる反応でもあり、与党AKP(公正発展党)の劣勢を覆すものではないと考えています。

目先は選挙イベントの通過でいったん材料出尽くしとなり、今週の市場の注目はECB(欧州中央銀行)理事会や英国のEU(欧州連合)離脱問題に集まっています。トルコ金融当局の介入も警戒されるため、今週は様子見姿勢が強いと考えます。ただし、ロシアからの対空ミサイルシステム調達をめぐる対米関係の悪化には注意を払う必要があります。

【トルコ 金利推移】 (2019年3月8日～2019年4月5日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <https://www.daiwa-am.co.jp/>